



迷走する新専門医制度 ～医学教育の視点から～

北海道勤労者医療協会勤医協中央病院
総合診療・血液病センター長
臺野 巧

平成29年度開始予定の新専門医制度が延期になった。理由について、地域医療崩壊の懸念、機構のガバナンス不足、制度設計や運用に対する柔軟な対応を求める各学会からの強い要望等々、と日本専門医機構（以後「専門医機構」）のホームページに記載されている。専門医制度は基本的に、質の高い専門医養成を目的としなければならない。地域医療崩壊は重要な問題であるが、別の仕組みで解決すべきであり、専門医制度と関連させるのは間違いである。平成27年10月17日に札幌で開催された新専門医制度の説明会で、新内科専門研修について、地域の医療機関から「専攻医が今まで通り派遣されるのか」という疑問が出された。新内科専門研修で求められている内容は、稀な疾患も含めた疾患経験の比重が高いので、そのような懸念が出るのは当然である。私は、内科専攻医が大学病院や都会の大病院だけで研修することを推奨しているわけではない。むしろ、地方都市の中小規模病院でさまざまな内科疾患をランダムに診療することの方が重要と考えている。しかし、地域医療の崩壊を避けるために「研修の質を落として」地方都市で研修させることには反対である。ただし、新内科専門医はジェネラルな内科診療を質高く行なうことが重要と考えて、地方中規模病院での研修が必要であるという考えのもと研修させるのは賛成である。現象としては同じかもしれないが、この両者は質的に全く違う。後者は質の高い専門医育成につながる考え方だが、前者はその逆だからである。

ここで問題となってくるのは、到達目標（アウトカム）を何にするかである。各領域の専門医のアウトカムは何にするのか。ここを徹底的に議論し、国民・（医師だけではなく）医療関係者にとって納得のできるアウトカム設定が求められる。学会（＝医師）だけでアウトカム設定をすると偏ってしまう。アウトカムが設定されたら、次に評価方法、その次に研修方法を決めていく。これはアウトカム基盤型教育という世界標準の考え方だが、日本ではほとんど取り入れられていない。医学教育において日本は欧米のみならず、東南アジアからも遅れをとっている。平成28年12月に発表された専門医制度新整備指

針をみる限り、その遅れはさらに大きくなるだろう。

プログラム整備基準に則って各専門領域の学術団体がそれぞれの基本プログラムを作成するのは現実的な方法だと考える。しかし、学会に丸投げしてはいけない。医学教育的な見地からみて質の高い後期研修プログラムを提供してきた学会はほとんどない。今まで質の高い専門医を育成してきたから今のままで良いと主張する学会は信用してはいけない。教育プログラムは常に評価と改善を繰り返していくべきものであり、これで良いと満足した時から質の低下をきたす。専門医機構が学会を指導して国際的に質の高い後期研修プログラムを作成させなければならない。では、今の専門医機構にそれができるのか。難しいだろう。医学教育の専門家（医学教育の修士を有していることが最低条件）を機構の重要ポストに登用し、抵抗勢力を理事から外すくらい思い切った改革をしなければ無理だろう。専門医機構は日本医師会などから多額の資金借入をしている。このような利害関係の中で、適切な判断を専門医機構が下すのは不可能と考える。

最後に総合診療専門研修について言及する。他の18領域は学会に委ねているが、総合診療専門研修はオールジャパンでやると専門医機構は言っている。しかし、専門研修はその質を高めていくことが重要なので、その領域の学術団体が中心となって進めていくべきである。総合診療のワーキンググループに学術団体以外が入っていることに違和感がある。新専門医制度の延期が発表された時、総合診療専門医を目指す医師は日本プライマリ・ケア連合学会（以後、「PC連合学会」）の家庭医療後期研修プログラムが受け皿になる、と専門医機構は発表した。しかし、PC連合学会は他の18領域と違い専門医機構の理事からも外されている。この冷遇も極めて不自然である。専門医機構の前体制のもと、PC連合学会の家庭医療後期研修プログラムVer. 2をさらに改定しバージョンアップする形で総合診療専門研修プログラム整備基準が決定された。しかし、新理事の松原氏は、1年目に内科を1年間、2年目に救急を1年間、3年目に外科または小児科または内科を1年間、それぞれの専門領域の指導医の下で行うという私案を強引に通そうとしたと聞く。過去の議論を踏襲せず、『総合診療は総合診療の現場でこそ最も重点的に学べるものである』という大前提をも全く理解せず、強引に私案を通そうするやり方は有害としか言いようがない。即刻退任が望ましい。

新体制になってさらにガバナンスが悪化している専門医機構に展望を見出すのは困難である。